

創立 40 周年を迎えて

社団法人 日本品質管理学会

会長 鈴木和幸*

1971年4月に発足した日本品質管理学会が40周年を迎える本年、2011年3月11日に未曾有の東日本大震災が生じました。大震災により罹災された皆様、御家族の方々、そして関係者各位に心からお見舞いを申し上げます。また、不幸にも犠牲になられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

当学会は、発足後1977年4月に社団法人の認可を受け、“品質管理に関する学理及び技術の進歩を図り、もって学術、産業の発展に寄与することを目的とする”公的な学会となり、1982年に中部支部が、1992年には関西支部がそれぞれ発足し、両支部での活動も活発に行われるようになりました。

本誌は、当学会の創立40周年記念事業の一環として、2001年から2010年までの当学会の「あゆみ」を記したものです。特集「あゆみ」の構成は、

- (1) 発刊の辞
- (2) 40周年記念事業について
- (3) 2001年以降の歴代会長からのメッセージ
- (4) 名誉会員の紹介
- (5) 2001年以降の新たな活動

となっています。この10年間の新たな活動は、品質管理推進功労賞、部会活動(部会活動の概要、ソフトウェア部会、QMS有効性及び審査、医療の質・安全部会)、横幹連合、QC検定、インカレゼミ、『JSQC選書』、『新版 品質保証ガイドブックの発刊』、AQS/ANQであり、これらの活動を記しました。これらの他、学会中期計画の策定による、理事会方針のローリ

ング、初等中等教育における問題解決能力向上への支援活動、産学連携活動の更なる強化、公益法人法による一般社団法人化への移行等があげられます。

本学会の特徴は産学連携による“モノづくり”・“サービス”・“人”の質の向上活動にあるかと思えます。大震災あとの現在、わが国がおかれている厳しい状況下、国を挙げてTQMの理念と体系を実践すべきときかと存じます。この一つとして当学会のホームページに品質関連支援サイトを立ち上げ、被災企業、被災企業と協力関係にある企業、すべての日本の企業などの区分の上、大震災後の今後に向けての品質に関連する課題・留意点などを記すコーナーを設けました。本誌とともにご参考くださればと存じます。

従来「あゆみ」に掲載されていた「品質」誌掲載内容要約、研究会活動報告、年表などは、当学会のホームページで公開します。なお、これらの2001年から2005年までは、すでにホームページに掲載されています。

この40周年記念誌は椿広計氏を中心とする40周年記念事業実行委員会ならびに棟近雅彦氏を中心とする記念誌編集WGにより編纂されました。以上の各位ならびにご執筆を賜りました皆様に厚く御礼と感謝を申し上げます。

本誌が学術ならびに実践としての品質管理の更なる発展への資料として活用されることを願っております。

* * *

*電子通信大学大学院 情報理工学研究科 教授

連絡先：〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1(勤務先)